

2006年4月7日

「窓ガラスで守る地球の未来」

エコガラスの活用によるCO<sub>2</sub>削減キャンペーンの開始について

板硝子協会

板硝子協会（東京、会長：門松正宏）は、会員3社（旭硝子株式会社、日本板硝子株式会社、セントラル硝子株式会社）で製造するLow-E複層ガラスを「エコガラス」の共通呼称で一般消費者に対する使用を提案し、CO<sub>2</sub>の削減と地球温暖化防止を呼びかけるキャンペーン活動を開始することと致しました。

Low-E複層ガラスは一般の複層ガラスと比べて開口部の遮熱・断熱性能に優れており、室内環境をより快適に保ちながら冷暖房効率を上げて住宅のエネルギー消費量を抑えるという優れた機能があります。このLow-E複層ガラスの住宅のエネルギー消費量を抑えるという性能は、結果としてCO<sub>2</sub>排出量の削減を可能とし、ひいては地球温暖化防止対策に対しても大きく貢献することができる機能です。板硝子協会の試算によれば、東京都では戸建住宅が窓ガラスにLow-E複層ガラスを使用すると、一戸当たり25本のぶなの木を植樹するのに相当するCO<sub>2</sub>削減効果を期待することができます。

このLow-E複層ガラスの地球温暖化防止に対するすばらしい効果・機能を一般消費者の方によりわかりやすくご理解いただくために、「エコガラス」という共通呼称を使い、改めて、国内の建築用板硝子製造メーカー3社で構成する業界団体である板硝子協会が主体となって認知促進に取り組んでいきます。このような製品のプロモーション活動は板硝子協会としては初めての試みになります。

「エコガラス」認知促進活動の展開計画の主な内容は以下の通りです。

- ・ 「エコガラス」ロゴマークの制定
- ・ 専用ウェブサイトの開設 <http://www.ecoglass.jp>
- ・ 「エコガラス」パンフレットの作成
- ・ 新聞・雑誌への広告
- ・ 各種イベントでの製品の展示（エコッ手、エコボール、ガラスの森移動展示車）

板硝子協会はこの活動を通じて、従来にもまして業界のみならず一般消費者の方々へ広く高機能ガラス製品の紹介活動をおこない地球温暖化防止対策にも貢献をしていきます。

以上

本件に関するお問い合わせ先：板硝子協会 03-3212-8631

（担当調査役：師尾 もろお はじめ 元）